



香川県立中央病院
Kagawa Prefectural Central Hospital

れんけい

題字：松尾信彦書

新年のご挨拶

院長 太田 吉夫

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当院の運営につきまして多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年3月に新病院での診療を開始して10ヶ月が経過しました。外来では、新病院開院当初より多数の患者が受診され、当初は採血室等で長時間の待ち時間をお願いするなど多少の混乱がありましたが、人員の増強等により落ち着き、外来・入院ともおおむね順調に運用しております。ハイブリッド手術室やロボット支援手術装置「ダヴィンチ」を使用した手術、カテーテルアブレーションによる不整脈治療、PET-CTによる診断や、高精度放射線治療装置「ノバルスTx」を用いた放射線治療など、高度先進医療を提供しています。また、屋上のヘリポートを活用した救急医療などにも力を注ぎ、今後とも当院の基本理念である「香川県の中核病院として安全・安心な医療を提供し、県民や地域医療機関から信頼される病院」を目指して努力して参ります。



当院は、外来患者数を800人と想定して新病院の施設等を整備し、医療従事者も配置していますが、新病院開院以来、1日平均外来患者数は1000人を超える状況が続いています。待ち時間の増加による患者サービスの質の低下や、医療従事者の負担増が課題になっています。また、当院の使命である高度急性期医療の提供という役割を十分に果たすためにも、他の医療機関で対応可能な紹介状を持たない軽症患者の受診抑制が必要と考えています。このため、外来非紹介患者に対する選定療養費を現行の2160円から5400円に改訂することとなり、本年2月2日より実施する運びとなりました。さらに、急性期を脱し、症状が安定した患者については、地域の医療機関で継続治療が行えるよう、積極的に逆紹介を進めています。

今後とも当院との病診・病病連携にご協力頂き、これまで以上に皆様方との連携を深めていくことができましよう、ご指導、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

病院祭を開催しました

12月6日(土)に第6回病院祭を開催しました。今年は、新病院に移転して初めての開催でしたが、院内外から大勢の方々に参加いただきました。

初めに、1階講堂において公開講座を実施しました。泌尿器科・黒瀬部長の「ロボット支援手術システムを用いた最新前立腺がん治療について」、救命救急センター・佐々木部長の「もしあなたの前で人が倒れていたら?!」、脳神経外科・合田部長の「あなたの脳は大丈夫?寝たきりにならないために」というテーマで、それぞれ講演や実技を行いました。予想を超える多くの方に参加いただき、健康意識の高まりを感じることでできました。

次に、1階ロビーにおいてコンサートを行いました。フォークソンググラフィティさんのフォークソング、高松市立木太中学校吹奏楽部さんのディズニーメドレー、職員グループSWATS(スワッツ)の踊りと合唱、最後に青柳妃姫さんのバイオリンとピアノ演奏がありました。どのグループの演奏や合唱も素晴らしく、来院されたみなさんが聞き入っておられました。

その他、クレープ、お菓子の詰め放題、美味しいケーキ、温かいスープ等が格安で販売され、多くの方で賑わいました。

これからも、こうしたイベントを通して県民の方から愛されるとともに、信頼される病院となれるよう職員一同取り組んでいきたいと感じた一日でした。



「ノバリスTxについて」

放射線科医長 吉尾 浩太郎



図1: 当院で稼働中のノバリスTx

平成26年6月より新病院にてノバリスTx(図1)による放射線治療が開始されました。香川県初導入となるこの装置は定位放射線治療、強度変調放射線治療といった最先端の高精度放射線治療を行なえるポテンシャルを秘めた装置です。

腫瘍の形態に合わせて照射野を形成することが可能な2.5mmのマルチリーフコリメータ(図2)、呼吸移動をする臓器がある一定の位置に来た時のみ照射する呼吸同期照射などの機能を十分に生かした治療を行なえるようにスタッフが日々取り組んでまいりました。

国内先進施設からの技術支援などいただきながら準備を進め、10月よりピンポイント照射と言われる脳定位照射(図3)、肺および肝臓の体幹部定位照射が開始されました。これらは従来行なわれてきた放射線治療よりも多方向からターゲットに対し放射線を集中して照射することで、より多くの量の放射線照射を少ない副作用で可能にする治療方法です。治療成績が向上し、照射期間も短いため、治療を受けられる患者様にとってメリットの大きな治療と考えられます。

がん診療の三本柱の一つと言われる放射線治療が今後さらに充実することで病院全体としてより高いレベルでのがん診療が可能になることが期待されます。また、以前なら放射線治療を諦めていたような病状の患者様にも治療を届けられるようになるかもしれません。

近年の機械工学の進歩が可能にした高精度放射線治療による恩恵を、より安全に、より多くの患者様に提供できるよう、今後もスタッフ一丸となって取り組んで参ります。



図2: より細かな照射野を形成可能なマルチリーフコリメータ

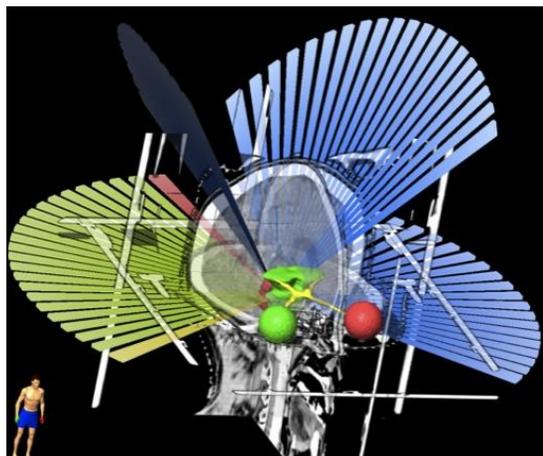
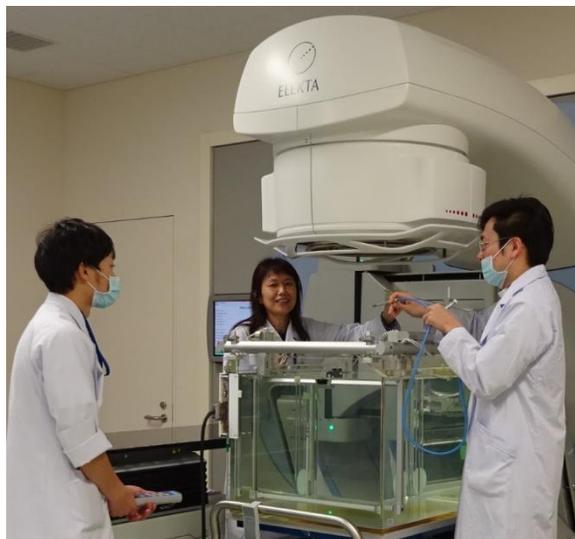


図3: 脳定位照射のイメージ

放射線治療専門技師の紹介

放射線治療専門技師認定機構認定
放射線治療専門技師

池本 美智代
田淵 耕介
玉亀 壮周



放射線治療は、がん医療の中でも特に専門性のある様々な職種の密な連携で成り立っています。私たち放射線治療専門技師は、安心して治療を受けて頂くための専門的な能力を有する資格者として、位置づけられた役割を果たせるよう日々の治療業務を担っています。

放射線治療に要求される、照射線量管理や位置精度管理には治療機1台あたり年間約500時間を費やすと言われていますが、皆で力を携えて頑張っています。当院では、新しく2台の治療機が稼働しました。どちらも高精度な治療が可能な優れた治療機です。存分にその効果を生かせる品質保証や管理に努め、機器のわかりやすい説明などを通して治療時には、患者さんの不安に寄り添える技師でありたいと思っていますので、どうぞ気軽にお声掛けください。これからも放射線治療専門医の処方線量を正確に照射することはもちろん、何よりも安心して治療に臨んで頂けるよう努力したいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

入院・検査説明センターの紹介

看護師長 和田 小百合

当センターは新病院開院に伴い設立された新設部署です。スタッフはセンター長である稲葉医師を中心に看護師6名、医療クラーク2名、受付1名で構成されています。運営方針は、クリニカルパスに沿った治療を行う入院や手術、及び外来検査の説明を専任スタッフが行うことで患者さんやご家族に、入院及び治療に関する知識を深めてもらうことが出来ます。それにより安心して入院や検査が受けられるようになります。また、入院前にリハビリテーション科や口腔外科を受診することで、合併症を防ぎ入院日数の短縮化をはかることを目指しています。

1日の受診者数は30～50人で、説明件数も少しずつ増加し現在一ヶ月約900件の実績をあげています。外来と連携をとりながら待ち

時間の短縮に努め、病棟とも連携をとりながらスムーズに入院して頂けるよう情報提供を行い、クリニカルパスの見直しを行うことでより質の高い説明を行えるよう努力しています。患者さんからの「無事に検査や手術が受けられて良かった」という声がスタッフのモチベーションの向上につながっています。今後も多くの患者さんに安心して当センターを利用して頂けるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと考えています。



選定療養費の額の改定について

今回、県立中央病院の選定療養費を次のとおり改定することとしました。

今後は、紹介・逆紹介を一層推進し、地域の医療機関との連携を強化したいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

- 金額：現行 2,160円(消費税込)を5,400円(消費税込)に改定
- 改定日：平成27年2月2日から

24時間循環器ホットライン開設

従来よりありました循環器ホットラインが、2014年10月1日から、**24時間365日**対応になりました。

これは、**医師専用**の、電話交換を通さない循環器疾患の相談窓口です。

緊急症例、診療のご相談など、何でもお気軽にお電話ください。

平日午前9時から午後5時は循環器内科医師が対応します。

その他時間帯は、循環器内科医師もしくは心臓血管外科医師が対応します。

医療セミナーの開催予定

地域の医療機関の先生方を対象とした医療セミナーを開催します。

- 日時:平成27年1月29日(木)19時～
- 場所:香川県立中央病院1階講堂
- テーマ:「専門的緩和ケア-現在の活動と今後の課題-」
- 講師:当院緩和ケア内科部長 仁熊敬枝
多数の先生方のご参加をお待ちしています。

医療セミナーを開催しました

10月30日(木)、本院講堂において、「放射線治療の最前線」と題して、医療セミナーを開催しました。

司会は川上院長補佐、講演は放射線科の吉尾院長でした。参加者は医師等80名で、院外からも29名の先生方にご出席いただきました。

今後も、当院における医療を紹介するため、興味ある様々なテーマを取り上げて、皆様のお役にたつ医療セミナーを積極的に開催していく予定です。

ぜひご参加ください。



転出

10月31日付
川北 祝史 (循環器内科)



阿多 亜里沙 (研修医)

- ① 香川大学
- ② 平成25年
- ③ ダンス、映画鑑賞
- ④ 知識と技術を一つずつ身につけ、最善の医療を提供できるように日々努力したいと思います。



岡本 和浩 (産科・婦人科)

- ① 東北大学
- ② 平成23年
- ③ 硬式テニス
- ④ 当院、そして産婦人科の更なる発展のために、患者様のために、微力ではありますが、弛まぬ努力を続けます。



平石 宗之 (腎臓・膠原病内科)

- ① 香川医科大学
- ② 平成5年
- ③ リウマチ、膠原病
- ④ 診療でお困りの際には御相談下さい。

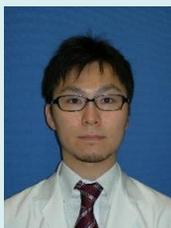
転入

10月1日付

医師の人事異動

- 自己紹介は、①出身大学②卒業年
③趣味④抱負です。

11月1日付



藤本 将平 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- ① 鳥取大学
- ② 平成23年
- ③ 剣道
- ④ 患者の気持ちや立場を理解できる医師を目指しています。よろしくお願いたします。



筒井 朱美 (肝臓内科)

- ① 徳島大学
- ② 平成2年
- ③ スポーツ観戦
- ④ 皆様のお役に立てるようにがんばります。よろしくお願いたします。



十河 将弘 (循環器内科)

- ① 岡山大学
- ② 平成20年
- ③ カラオケ
- ④ 皆様のお役に立てよう頑張ります。よろしくお願いたします。

11月30日付
大道 亮太郎 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)